京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓▲五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久紳一郎
發行所　京城西署西小門通（電話六六三）　京城新報社

雜報

南大門外街路改修の急

一記者

南大門左右の墻壁が取毀されて電車の通る間隙許に嘗へば寄せては返へす男波女波の瀬さし間に驅抜けてホツと安心の胸を撫づる親不知子不知の險を過ぎる塩合で彼の門を出入りしたものが今は左右に廣闊と開けたる路を通ることの出來るのは假し黄塵目鼻を襲める許り立昇ることの夫れが如何に不愉快であらうとも先づ々我慢すべきである、然るに門を出て南大門停車場に通ずる道路は門の左右の一方よりも臨いのである、電車が駛る馬車、荷馬車人力車が通る、小山の如く薪柴を載める牛が陸續往來を塞く、其間を縫ふて人の子は右に押され左に飛退き大袈裟のやうではあるが實際命がら〲な目に遇はされる、行路難を文字のまゝのパノラマは彼處に寫し出されてある之れは一度足を京城に入れたものは皆實驗したことで、喚ばかりならば日本にも聞これて居やう、然れば吾輩は世間に熟知された事實を書かんが爲め此の事實を書くのでは無い、何故彼の難路を取擴げて交通の便利を計る事をしないのであらうかを疑ひ、必ず且つ速かに右の事に出づべきを當局者に勸告する爲めに書く。

設し彼道路を取擴げるならば斯く、而して費用は幾許といふことは當局者には無論調査されて居る筈で、南大門の左右に道路を開かれたる時の設計の一部で追て實行さるゝことに成つて居るのであらうが、併しながら刻下の狀は追々といふ事を許さない、早急に實行さるゝの必要がある、當局者は金が無いといふかも知れぬ、然れども是程の必要を充す丈けの金は有ることになつて居る筈である、若し無いと云ふならば、何故無いかこの質問に答へ得るであらうか、當局は治道費として本年も亦約百五十萬圓を計上して居るでは無いか、地方開發の爲めに投ずる百五十萬圓の金は決して惜むべきでないが、此の内の若干を割いて韓帝國首都の玄關前を、切めて人民が身体生命に危險なく通行し得るやうにしたればとて事の急不急を衝り損ねたものとは云へまいと信ずるのである、尤も彼處は比較的高價なる地所家屋を買取り立退料を與ふるなど道路の長さに比し案外多額の金を要するであらう、夫れは能く判つて居るのであるが、其邊に藉口して一日も猶豫することの出來ない程の必要がある以上夫れは許せぬのである、土地收容法の制定がないからとも云はせぬ、何んとなれば左程必要でない法令をさへ制定するのに一も躊躇せざる當局者に此の必要なる法律を制定することの出來ぬ理由はないからである。

材料輸送の繁忙

安奉線は既に連山關附近の一部を除くの外各處とも土工を開始したるより滿鐵社にては目下材料輸送に大繁忙を極め居るが早くも貨車不足を感ずるに至り此上増加の時は遠方は汽車近き所は馬車送りをなさんと議しつゝあるも能ふ限り滿韓便を用ゆる筈にて日々數回臨時車を出して其輸送を努めつゝあり

●兼二浦の工場移轉　兼二浦の製鐵工場は今回愈々平壤に引揚移轉することとなり本年七月頃までに悉皆移轉せらるべき筈なるが多分來月中旬頃より其準備に着手せらるべしと

地方通信

▲平壤通信

▲水道通水式　平壤水道工事は既に竣工したるに就ては四月早々本部より川上工學博士の來壤と共に氏の立合の下に正式に水源地に於ける機關の試運轉を行ふ事は別項記載の如くなるが右にして良好の成蹟を認めたる上は更に同十五日頃を以て通水式を行ふ筈にて當日は同事務所にては當地の重なる官民を招き右の工事に關する報告を爲し夫より竣工に對する祝賀の宴をも催ふす筈なりと

▲兵營と憲兵隊　過日來取急ぎ居たる兵營の給水工事は鉛管埋設箇所は地下多く岩石なる爲め掘穿に大に至難を感じ豫期以外の手數を要したるが愈西五日前を以て全部竣工せり又憲兵隊に於ける同工事は其後着々進捗し目下は殆ど竣工只其一部に於て器具の不足せる爲め缺げる所あるのみなりと

▲農學校開校期　平安南道立農學校は内部より既に許可ありたるが同校は從來の農林講習所を擴張し之れに二三の新學科を加へ講習所跡を其儘用ふるものにて四月上旬遲くとも中旬には開校の運びに至るべしといふ

▲教育品展覽會　公立平壤普通學校にては來る廿五日より二十八日まで四日間（自午前十時至午後五時）主として生徒の成績品を陳列せる教育品展覽會を開催し日韓人一般の觀覽に供すと云ふ

▲韓銀營業比較　當地韓國銀行支店に於ける近況を聞くに解氷後漸く多忙の域に入り貸出金は増加しつゝあるが之に伴ふて鐵類金巾韓麻等の貨物も稍動きを見るに至れり今一昨日現在支店の貸出總額は三十七萬六千圓同預金三十三萬六千圓前週即本月十四日同現在は貸出三十五萬五千圓同預金三十萬九千八百圓即本月二十一日現在額は同十四日に於るものに比し貸出額に於て二萬四千圓の増同預金に於て一萬九千二百圓の減又之を先月二十一日に於るものに比すれば本月二十一日に於けるものは先月同日に於けるものに比し貸出にて六萬六千二百圓預金に於て八千圓の減なるが更に之を昨年三月廿一日に於けるものに比すれば本年同期に於けるものは昨年同期に於けるものに比し貸出額に於て七萬六十圓の増同預金に於て六萬四千圓の増加にして昨年解氷期に於けるものは本年度の如く經濟上の打撃を被むり居らざるも猶且本年度の貸出預金共多額なるを見るは一般に當地に於ける經濟力の膨脹したるものあるが爲なりと

▲韓商と信用手形　平壤手形組合所に於ては一般韓商人等が漸く手形の効力を解知するに到りたるを以て昨年來商業上に關するものに限り同組合監視の下に其保證信用手形の發行を許したるが其成績の意外に良好なるは屢々記する所なるが近頃更に手形の効力の一般韓商人間に於て周知するに至り其反動として豫て同組合所の目的なるに於て發行額を減ずるに至りたるが同組合所に於て現に使用しつゝある手形用紙（無所にて賣下つゝあり）の使用濟に係る保證信用手形に用ゆる用紙は手形組合ものは五千枚以上に居れるが内組合所に於てする保證手形は九百枚に過ぎざれば差引其五分の四以上は韓商人間に發行されつゝある無保證の信用手形たるべき理なれば以て其從來不確實なる手形の勢力の漸く衰へて正確なる信用手形の行はるゝに至り漸次商取引上に於ける習慣の改善は域に向ひつゝあるを知るべし（廿三日）

日本銘刀傳

第七十六席　金華山兼定（三）　邑井一講演

愈々二十六夜待の晩になりますると八さんと七兵衛二人して高輪の海岸を見渡しますと參詣人の多いこと驚ろくばかりでわります、然し半分は見物人でせん　七『エ、敷物は如何ですな　八『敷物屋でござい　七『此敷物を敷きますと三光樣が拜めますよ　見物人甲『オイ敷物屋、幾らだい　七『エ、三文です　甲『一枚くんねえ、オヽ是お異茄ぢやあねえか　七『エ、異茄を敷いて拜むと能く拜めるんです　乙『俺にも一枚くれよ　八『ハイ〲　丙『俺も立つてるなア辛ねから二枚くれ　七『ハイ〲　丁『此方へ三枚くんねえ　七『ハイ〲二枚御買ひなさると能く拜めます　丙『左樣か、何だか怪しいもんだぜ　七『ハイ〲三枚買ふと三光樣が御三体とも拜めますよ』さア段々上げて來ます　戊『オイ、此方へ一枚くれ　八『ハイ〲、エ、十文戴きます　巳『ちよいと此方へ二枚頂戴な　七『ハイ〲一枚二十文づゝ戴きます　庚『オイ〲俺に一枚くんねえ　七『ハイ〲一枚三十文ですよ　庚『馬鹿に高くしやアがつたな』此鹽梅で遂々五十文まで上げて行きましたから、錢の上つたの上らんの、是が六七百枚あつたのを賣切つてしまつたから一枚四十文として、六百枚の四六二十の四とやつて、二十四貫といふ其當時非常な大金、是を八太郎と二八で分配ましたサア是から茄子の方に掛るのださいふので、天秤棒の先きへ小さな桶を下げて夫へ茄子を入れ引擔いで、諸所の屋敷の普請場へ來て　七『何うです、午餐の副食物に茄子の糠味噌は如何です、十文で二十ですが』大工などが出て來て　甲『如何樣な茄子が漬けてあるんだ　七『是で　甲『ウム是ア旨さうだ、是をくれろ　七『ヘイ十文で二十五に負けときませう　甲『ウム美味ねや、コウ、お前も買はねねか　乙『左樣か、ちやア俺にもくれ』と景氣好く賣れます、其内に氣狂茄子を食つた奴は踊り出し　丙『テケテツテツテ、ドンドコドン　甲『オイ〲何うしたんだい　丙『テーケテツテ　乙『此奴は可笑しいやア何うかしやがつた、アハヽヽ　甲『オヤ〲、吉公が氣が狂やアがつたのに笑つてる奴があるもんか　丙『だツて可笑しいぢやアないか、可笑しいから笑ふんだ　甲『だから手前は薄情だ、吉公が氣が狂つたのに笑やアがる』と躍起になつて怒つてる、此方ぢやア吉公の伜がお辨當を持つて來て親父が妙になつたんで、メソ〲泣き出すといふ騷ぎ、まるで三人上戸でございます、七兵衛是ア妙だ、ヤア此茄子を食ふと變になる、妙々、如何でせう今度ア是を食ふと美人に惚れられるてねなア……甲『馬鹿ア云へ、其樣な茄子があるもんか』遂々此樣工合で茄子を賣つてしまいました、ちよつと申上げて置きますが、今は餘り其樣なことは申しませんが、昔は狂氣茄子と云ふことを能く申しました、茄子の出來損なつたので之れを食するを狂氣になると申傳へます

右樣な次第で七兵衛も金を儲けましたから是れだけあれば先づ道中も出來ると別れを告げて高輪を出發しました、後に河村瑞軒と云ふ學者が此の故智を襲つて、矢張廿六夜待の夜に異茄を賣つたと云ふ話がございます。

京城新報

景氣恢復之曙光(上)

生產事業の勃興近きにあり

不景氣、不景氣、不景氣の聲は日夜連發せらるゝのである、半島全体を通じて日韓人の疲弊は今日に於て絕頂に達して居るのである、若しも今日の狀態にして一年二年と繼續せんか日韓人の**多數が饑餓**に迫らるゝに至るは必定であるのである、聞者曰く我移住者は何が故に增加せざる、亦曰く韓人暴徒は何が故に消滅せざる、嗚呼斯る愚問は**無責任**なる所謂**韓國經營者**の口より日常發せらるゝである、而して彼等は日韓人疲弊の狀態を知らざる眞似して樂天を粧ひつゝあるのである。

日露戰役中に於て軍資金の著しき部分が半島に撒かれたことは今更說くを要せぬ事實である、而して此軍資金散布の事が半島住民の爲に幸であつたか不幸であつたかソレは甚だ疑問である、否疑問と云はんよりは寧ろ**不幸**であつたと斷言する方が適當であるのである。散布軍資金の高は明瞭には判からぬ、然かも巨額の貨幣が日韓人の手に容易に落ちた、貨幣の激增は**經濟思想の幼稚**なる半島民をして急に富者となつた如く感ぜしめた、麥を食つて居たものが米になる、スルがビールになる、銘仙が御召になる、酌婦が歌妓になる、平家が二階建になる、不要の西洋間が建增される、物質的要求は益激增する、それと同時に地價家貸勞銀は吊る、**帳簿面の財產及收入**は殖えた。戰役が濟むと統監府が出來た、伊藤統監が乘り込んだ、之亦政治機關の新設に因つて少なからざる貨幣を散布した。前には**戰爭樣**あり、後には**統監樣**あり、日韓人全体が夢に夢見る心地して浮れた、**シルクハット及びフロックコートの激增**は此間の消息を正直に語つて居るのである。

言ふ迄もなく軍事及び政治機關新設の爲に資金の散布せられたるは一時である、而かも假令一時にしても手に落ちたる巨額の資金を生產的に應用したるならば今頃は一般富の產出を增し從つて輸出も增して該資金は今日と雖も生產資金として半島に止まつて居た筈である、而るに事茲に出でず半島日韓人は明けても暮れても**輸入超過**に勉め、阿容々々と**資金を流出**せしめて了つたのである。資金地を拂ふに當て不景氣の神は頭を擡げ始めた、さりとて一旦擴げた手は急に縮め能はぬ、トツオイツ之を如何にすべき、銀行は引締める、破產者は現はれる、不動產は下落する、如何にするも**貸借表の數字**が出合はぬ、五年前に新調せるシルクハットとフロックコートとの色今は褪せて徒らに**悲觀の材料**となる。

異の悲觀は異の樂觀を生む、日韓人事つて今は過去の**繁榮が室咲き**なることを覺つたのである、貨幣の激增の富の增加にあらざることを覺つたのである、破產、不景氣之に因つて**經濟的訓練**を受けたのである、茲に於てか思想の堅實となれる各個人は猛然として生產事業に當らんとするの決心を爲す、折も折天の一方より**好音來る、景氣恢復の曙光**は正に見ゑんとす。

東京電報

▲**伏見宮の御參內**　日英博覽會御參列の爲め御渡英に就き本日參內　天皇陛下に御對顏賢所御參拜あらせられ同時に殿下の隨員たる高平大使、馬場別當、塚田皇族附武官、淺野式部官、御牧家介參內拜謁仰付られたり(廿五日)

▲**伏見宮の御發程**　伏見宮貞愛親王殿下には明二十六日御出發渡英の途に就せらるべし(同上)

▲**濤貝勒御乘艦**　濤貝勒殿下には製鐵所及重砲兵演習等を御覽非常に滿足せられ今朝宮島より伊吹艦にて吳に向はれたり(同上)

▲**臺灣製糖の發達**　臺灣の製糖業は近時大に發達し耕作地として米田を侵蝕せんとするに至れるが其可否に就ては當局の研究中なり

▲**首相の不敬事件**　議院閉院式に於ける首相の勅語捧讀は先例に依れば本大臣は閉院式に臨み勅語を捧讀するの光榮を荷ふを前例とすべきものなるに今回の閉院式に桂首相が之を爲さずして卒然捧讀し終り其儘貴族院議長に渡せるは不敬の數々なりとの議論議員の間に起り首相不敬事件を惹起せしめんと激昂しつゝあるものあり(同上)

▲**寶田石油會社總會**　寶田石油會社は本日總會を開き國油共同販賣所合併問題等を議せり(同上)

▲**立憲國民黨の遊說**　立憲國民黨にては黨の主義を鮮明にする爲め全國を遊說する事に決し全國を六區に分ち先づ靜岡愛知兩縣に向ひ之を實行すべし(同上)

▲**師範校長會議開會**　五月七旬開會の筈なりし全國師範學校長會議は七月中旬に變更されたり(同上)

▲**牛疫撲滅獎勵訓令**　今回發生の牛疫は猛烈の勢を以て蔓延しつゝあるを以て農商務大臣は敏活に撲滅せしむべしと地方長官に訓令せり

▲**皇后陛下の還啓**　一月以來沼津御用邸に御避寒中なる皇后陛下には四月五日頃東京に還啓あらせらるべし(二十六日)

▲**德川議長送別會**　長谷場、肥塚の正副議長は來る二十八日正午德川貴院議長を帝國ホテルに招待し送別會を開く(同上)

▲**四十三年度總豫算公布**　帝國議會の協贊を經たる四十三年度總豫算本日公布されたり(同上)

▲**牛疫の猖獗と撲滅**　牛疫流行に就き昨日迄に主務省への報告によれば罹病總計百二十二內斃死三十五撲殺九十七之に病毒感染の疑ありとて撲殺せる八百五十五頭を合算すれば合計九百八十七頭に達す(同上)

紐育電報

▲**米大統領と軍備**　紐育に於ける平和會議席にて大統領タフト氏は軍備の大となれる結果世界の不和は確保さるゝに近きたり然れども陸軍は平和に對する最も信賴すべき保護者なりと說き又獨大使ベルストル伯は獨逸國の強大なる艦隊は海外貿易保護に必要なる所以を說きたり(廿五日)

▲**米國海軍の擴張**　華盛頓よりの報に依れば海軍經費割當法は戰鬪艦一艘建造及戰鬪艦一艘巡洋艦七艘潜航艇八艘の修繕費として一億二千九百萬弗の支出を許すべしと

▲**上院改革案可決**　上院改革案に關するローズベリー卿の決議案は上院を通過したりサリスベリー伯は該決議案は選擧運動上の目的を以て企てたるものなりと宣言せり之れ一般の意見を代表せるものなり(廿六日)

▲**米國鐵道の慘事**　ロッククアイランド鐵道列車は隧道通過中脫線し死者四十五名負傷者三十一名を出せり(同上)

▲**米市會の收賄事件**　米國ヒッツブルグ發報に曰く同地市會議員及び前市會議員四十名は收賄の爲め檢擧せられ其の中若干名は自白せり

歐洲電報

▲**伊太利の新內閣**　伊太利前總理大臣オスチーニ氏は新內閣組織を命ぜられたり(廿五日)

▲**露塞兩王の會見**　露國皇帝陛下は塞耳維國王の爲め乾杯の式に於て露國と塞維の親交は巴爾幹諸島の平和的發展を確實ならしむるものなりと述べられたり(同上)

▲**智秘國交の斷絕**　南米智利、秘露二國は境界問題に關し國交斷絕し兩國代表者は各其任地を引揚げ戒嚴令を布かれたり(同上)

▲**兩王の乾杯辭交換**　君府に於て土國皇帝とブルガリア國王との間に公式に乾杯辭の交換ありたり(同)

▲**獨逸大宰相の敍勳**　獨逸大宰相ベートマンホルウエヒ氏は伊國皇帝より最高級勳章を受け且つ宮中にて祝宴を開かれたり(同上)

▲**露國新議長の謁見**　露國新國會議長フチユーゲイチユ氏は皇帝陛下に拜謁仰付けられたり(同上)

大連電報

▲**兇漢の死刑執行**　安重根の死刑執行は本日午前十時旅順監獄刑場に於て旅順法院檢察官典獄等立會の上執行せられたるが教誨師は最后の教誨を爲し安は十分餘にして落命したり(二十六日)

元山電報

▲**赤愛支部の總會**　昨日理事廳構內にて赤十字、愛國婦人兩支部の總會あり久水支部長開會を宣し石塚本部長の祝辭、社長の祝電其他の祝辭報告等あり來會者三百餘名に達したるが尚ほ夜に入り愛國婦人會の主催にて幼稚園補助の演藝會を歌舞伎座に開らき理事官令孃其他激女紳士有志の興味ある演藝本部携帶の伊藤公に關する活動寫眞あり來會千名に餘り頗る盛會を極む(廿六日)

▲**電燈會社設立計畫**　當地の有志者は電燈會社を設立すべく目下計畫中なり(同上)

雜報

獨記者の韓國觀

獨逸伯林「ロカール、アンツアイゲル」新聞の東洋通信員たる「エルリッツヒ、フアン、ザルツマン」氏は韓國事情視察の爲め曩に北京より韓國に來り暫時京城に滯在、仁川より群山、木浦、馬山釜山等の各地を視察し更に京城を經て平安南北道に赴き宣川及雲山鑛山を見夫れより陸路元山に至り數日間同地方を巡視したる後間島地方を經て北京に歸る豫定を以て本月十六日頃韓國を去らんとするに臨み小松統監府參與官に一書を寄せ滯韓中の厚遇就中石塚長官に對する感謝の意を表し次で韓國觀察の感を叙して曰く始め京城より南韓地方を巡視したる際に在て途中何等の故障なく目的を達したることに付ては當時左まで心に感ぜざりしも北韓を橫斷して雲山より元山に至り續て咸鏡道を巡覽するに及び時に民情不穩の地方を出入したることもあり槪して塞村僻邑を通過したるに元より憲兵警察の保護ありしが爲めとは云へ何等の故障に遭遇することもなく終始愉快に視察を遂ぐることを得たるは偏に指導の宜しきを得たる賜なりと信ず余の見る處に依れば日本の施政改善は內地到る處着々實行せられ假令其間多少の波瀾あるは免れずとするも要するに韓國民の幸福を增進し韓國の隆昌を來すは疑ひなき處にして日本が斯く文明的施設に努力せるは實に欣喜に堪へざる所なりと云々

無稅通關と當局

統監府及通信管理局官吏に對する無稅通關の恩典は官商結托の弊を伴ひ之が爲めに善良なる商店の營業を妨害するの虞ある爲め京城商業會議所は曩に之が撤廢を統監府に迫りたるが同府にても疾くに之を認め縱令其建議なくとも廢止せんとの內議ありたる程なれば本年中には實行さるべしと云ふ

●**安の死刑と洪神父**　別項大連電報の通り兇漢安重根は廿六日朝遂に斷頭臺上の露と消ゑ果てたるが曩に彼の罪業懺悔を促がし歸韓せる洪神父ウキルヘルムは去る十九日信川歸着し無量の感慨に打たれつゝ二十六日を指待し居たり而して因果の天罰は天帝の神力も之を救ふに由なく森嚴なる法律の下に服從なるの外なきより責めては兇漢の冥福にても祈り遣らんと神父は廿六日未明より起き出で安の一族を始め同地の信徒等一同を教會堂に集め懇篤なる祈禱を行ひ併せて兇漢の遺言を傳へて說教を試みたり

●**水戶浪士五十年祭**　水戶浪士櫻田門の快擧以來既に五十年東京やまと新聞は是等憂國志士の靈を慰めんと來る四月十日櫻花爛漫たるの候九段坂上に一大祭典を執行せんとす依つて本社は在韓水戶人士より應分の寄附金を募り同社に寄贈せんとす詳細は別項三面廣告を參照せらるべし

●**京城民會の委員會**　京城民會の豫算調查委員會は既報の如く二拾六日午後六時より再會し歲入戶別割の殘存事項即ち官吏側の賦課及び人員の漏否を審查し全部是にて決定して二十八日召集の本會に報告する筈なるが大勢は無事通過すべしといふ

●**商業會議所臨時會**　京城日本人商業會議所に於ては二十七日午後臨時會を開き豫て宿題となれる現行定款を改正し現狀に適切ならしめ併せて商業機關たるの本能を發揮せん爲め該改正案を付議する筈なりと云ふ

●**民團中學廢止申請**　民團立中學校は四月一日より統監府立中學校に引繼るべきが民團にては財產としての關係上廢止の形式を踏み民會の決議を以て統監府の認可を申請す

●**富田耕司氏肖像**　仁川の有志者は目下山本梅涯氏の滯仁せるを好機として各自醵金の上故富田民長肖像畫の揮毫を乞ひ行末長く之を民役所に存置して故民長の德風を追慕すべしと云ふ

秋山中將の出發

入京中の秋山將軍は二十八日午前九時十八分南大門發同日平壤着一日滯在して二十九日新義州へ向ふ豫定なりと

守備軍の輸送日程

交代せんとする守備軍の輸送日程如左

第六師團司令部四月二十五日龍山發
步兵第二十三聯隊本部同月二十七日平壤發
步兵第十三聯隊本部同廿九日龍山發
同十一旅團司令部同二十六日平壤發
同三十六旅團司令部五月二日清津發
同第四十五聯隊本部同上
野砲第六聯隊本部五月五日清津發
騎兵第六聯隊本部同十三日清津發
工兵大隊本部同八日清津發
第二師團司令部四月十日橫濱乘船同十四日釜山上陸
步兵第二十九聯隊本部同上
同第三旅團司令部同十一日橫濱乘船同十五日釜山上陸
同第六十五聯隊本部十三日橫濱乘船十七日釜山上陸
同二十五旅團司令部十九日青森乘船二十二日清津上陸
同第四聯隊本部同上
野砲第二聯隊本部二十二日青森乘船二十五日清津着
工兵第二大隊二十四日青森乘船二十七日清津着
步兵第三十二聯隊本部二十五日青森乘船二十九日西湖津上陸
騎兵第二聯隊本部三十日青森乘船三日清津上陸

補充憲兵の到着

駐韓憲兵隊附にて三月除隊となり下士任官なせしもの〻補充員二百十九名は二十五日夕到着せしが其中四十名は咸興、鏡城分隊に向け同夜十時四十分出發し六十四名は京城分隊に編入され他は夫々各分隊へ編入せらるべし

●**兇作地方民救濟策**　仁川府南村面は昨年來の兇作と製鹽業の不況とにより地方民は非常の窮境に陷り其慘狀默視すべからざるものあり されば仁川警察署長は該面長を召喚し此際徒手悠遊するの不可なるを說き一夫も斯かる輩なき樣懇々諭示を與ね一方之が救濟策として勞働の途を研究し更に度支部朱安出張所と協議を遂げ製鹽に經驗ある同村面民を使役せしむる事となり本月二十日より二十六名を就職せしめつゝあるが其成績頗る良好にして孰れも勤勉業に勵み居れりと云ふ

●**秋山騎兵監歡迎會**　在京龍愛媛縣人會は廿五日午後六時より目下入京中の秋山騎兵監を花月樓に招待し懇親會を催したるが會する者三十餘名幹事大久保雅彥氏の挨拶に次で秋山中將の謝辭あり目下來京中の歷史研究家藤野靜輝氏の歷史談等あり頗る盛況を極め午後十一時頃散會したりと

●**度支部員の送迎會**　大邱財務監督局より平壤監督局に轉任されたる水口財務事務官同春川より晉州へ轉任の山口財務官及目下入京中の吉田元山財務監督局事務官の爲め去る廿四日度支部吏員は右三氏を京城ホテルに請じ送迎會を催したりしが來會者五十餘名に上り非常の盛會なりしと

●**木浦人士の觀光團**　木浦に於ては同地商業會議所及木浦新報主催となり九州聯合共進會觀覽を兼ね農商工狀況を視察し以て日本の文明情態を目擊せしむる爲全南日韓人觀光團を組織する筈にて目下勸誘中なるが會費四十圓往復日數約二週間の豫定也

●**信夫淳平氏の挨拶**　仁川理事官より墺國大使館一等書記官に榮轉したる信夫淳平氏は一度渡韓知己に對し告別の筈なりしも至急任地維納へ出發の公命ありしを以て其意を果さゞる旨夫々書面にて挨拶ありたり

●**時事新聞の觀光團**　當地發行の時事新聞社(韓字)は今回日本觀光團を組織し博多共進會並に其附近を視察する筈なるが申込期限は四月三日出發は七日團費は三十五圓なりと

●**遠藤事務官敍任**　爲替貯金事務視察の爲め曩に東上したる通信管理局遠藤出納課長は去る二十四日夜敍任せり

●**林田事務官歸任**　京畿、黃海兩道へ出張中なりし內部の林田事務官は二十四日歸京昨二十六日より出勤せり

龍山通信(廿五日支局發)

▲一昨二十五日下仁せられたる秋山騎兵監は今日午後二時三十三分發列車にて歸龍同夜同縣人の催しに係る歡迎會に臨まれたり▲小原鐵道院副參事昨二十六日來龍▲四十三年三月中旬同釜聯絡線に依れる輸出入貨物左の如し

輸出斤扱三五、九七一　同噸扱四二七　同速達便扱一、輸入斤扱九九四、四四三同噸扱五三六同速達便扱五三

右の外日本郵船運帶輸出貨物斤扱八七一同噸扱九五大阪商船同上斤扱一二八同噸扱四なりと▲從來鐵道院貨物損害に對し荷主より賠償請求を爲す場合其時效に關する見解區々にして一定せざるの嫌ありしが今回韓國鐵道管理局にては荷物引渡しの日より一箇年を經過したる賠償請求は法律の規定あるものゝ外總て受理せざることゝなれりと▲軍司令部軍醫部醫員小出一等軍醫は母堂死去の報に接し二十六日賜暇歸國せり▲軍司令部副官中村砲兵大尉は平壤部隊第一期檢閱の爲め昨二十六日出發せしが本月末歸任の豫定なりと▲來る二十九日龍山民會召集せらるゝ筈議案は例の桃山遊廓の區域擴張の件居留民は民團役所は兎に角學校とれ等の所在地丈けは遊廓地に編入されざることを希望するなるべし▲昨二十六日午後龍山橫貫鐵道期成同盟會より派遣したる上京運動委員の報告會を開けり大村委員が苞にして歸へりたる不老不死の靈藥篠原辦韓國一手販賣の件は問題外と知るべし若し秦の始皇を地下に起して參與官たらしめば大村君は京城民長に抱擁さるゝこと疑ある可らず

公人私人

▲村田昇清(都督府技師)廿五日浦尾投
▲追間房太郎(釜山貿易商)同上山本投
▲元田亨吉(步兵少佐)同上
▲佐藤良雄(陸軍三等軍醫)同上
▲神代信平(釜山郵便局技師)同上

▲治外法權▼

人は武士花は櫻の櫻田御門水戶の浪士が赤い合羽で身を固め伊井の掃部さんの首を斬る、と云ふ歌は如何なる鄙の果てまでも唄はれた者である、而かも本年は其快擧以來丁度五十年で東京では、やまと新聞の主催で一大祭典があるそうだ▲韓字新聞時事新報は今回博多共進會觀光團を組織した、其費用も僅々三十五圓である、韓人連に斯かる催ふしの出來たのは誠に喜ばしい現象である▲近來の京城民會なり又同委員會では開會每に必ず何かと物言がつく、之れに就いて某氏は曰く、從來の民會杯は丸で田舍の總代さんが組內の有志を集めて協議をする樣な有樣であつた、それがだん〳〵新智識を有した議員が出て來て法規に準據してやらふとする、又一方には頭の古い昔からの慣習で押し通そうと云ふ議員があるので兎角物言が起るのだと▲此間本欄で書いた京城記者團の韓內地旅行は愈々事實となる樣子である、是等の人々が仔細に視察した上半島の經營に揮ふ樣になるぞ其社會を利益する事は甚大なものがあらふ、記者は是非共其實行を望んで止まない。

陛下御料の玉車

▽七月竣工の豫定

[illegible]

竹槍隊を編成す

▽慶州、延日方面の頑民

[illegible]

借財二百餘圓

▽實母は故郷に泣き居る

[illegible]

二人共謀の窃盗

▽意氣地なき男二疋

[illegible]

●草賊五名の逮捕　十六日公州

[illegible]補助員一名と協力して之を搜索し左の五名を逮捕せり

公州郡牛灘面鴻城洞　咸鎔弼
石城郡院北面葛山　金光鉉
扶餘郡守村面上菊里　李成滿
同　李鐘林
同　梁基燮

何れも數年來賊徒の群に投じ良民を苦しめ官憲の眼を遁れ居たる者なる由

●賊首魁の自首　京畿道各地を横行せし賊魁李來元は前非を悔悟し去る二十一日長湍分遣所へ自首したるにより其の身上を調ぶるに李は從來部下廿名を率ひ賊徒の首領として隨所に出沒し我が官憲と衝突し身を遁れて良民より金品を强奪し居たるも自己の非行を悟り自首したるものなりと

在韓水戸人士に告ぐ

水戸浪士が憂國の餘り櫻田の快擧を敢て爲したるは今より半世紀前なり、爾後大義名分明かとなり政權朝廷に歸り國運隆々以て今日に至る、朝廷曩に浪士に贈位の恩典を賜ふ死して餘榮ありと云ふべし、今や外交多端世人動もすれば軟風に靡かれんとするの時に當つて東京やまと新聞社主催となり來る四月十日を期し九段招魂社に於て浪士の爲に五十年祭典を擧行せんとす、蓋し吾人の意を得たるものと云ふべし、依て思ふに在韓水戸人士は浪士と鄕を同ふする者該祭典に與かるの特權を有す故に本社は此際水戸出身の諸氏に寄附金を請ひ之を一括してやまと新聞社に贈り祭典費の一部に加へんとす幸に御賛成あらんことを希望す、

寄附金申込期日　**四月二日限り**

申込所　**京城新報社**

●水の恨みを石油　仁川民團揷除請負人夫増田方雇人なる金春三(三二)と云ふは去る廿五日午前八時頃同地柳町川原藤次郎所有の井戸に故意を以て石油を投入し飲用し得ざらしめたりとの訴に接し仁川署より警官出張取調べたるに從來右井戸は何人にても汲む事を得たりしも近頃飲料水缺乏の恐あるより一般の汲取りを禁止したるを遺恨に思ひ韓人の淺墓なる思慮より斯くの始末に及びしものと判明せしかば嚴重に說諭したり

●迷子の秀雄さん　曙町三十七番戸居留定一長男堤秀雄(六つ)が廿五日午後四時頃明治町二丁目附近に迂路々々せるを警官が認め南部署に運行保護中同日午後六時十分頃斯くと知つたる實父定一は周章狼狽同署に出頭無事な我が兒の顔を見るなり物をも得云はず嬉し涙に暮れつゝ芽出度引き取り歸れりとか然るにても之れに懲りて可愛い見を一人歩行はさせない事なり

●破戸漢拘留さる　埼玉縣北足立郡六辻村六十一番地田中定雄(三九)といふは渡韓以來一定の住所も無く京城龍山の間に出沒して惡擧をのみ働き居れる無賴漢なるが去る二十四日午後四時頃龍山櫻町通を彷徨せる態の又しても何か心に一物を懷き居るらしきを見て取りし龍山署の巡査は有無を言はさず警察に引致し浮浪罪として拘留二十日の處分は人助けなり

九州の雨傘の話

▽福博審査官の談

丁度今日は雨も降るし且つ此れから追々と雨季に入る譯であるから傘の話しも無駄ではあるまい、夫れには丁度福博の審査官の話があるから紹介する扨▲同じ傘でも實用と數寄との向口によつて製造の方法形狀等に種々區別がありますが實用向だと、一一圓から一圓五十錢位迄の品物が適當で骨の數も九州ならば五十六是は九州に限ります、他地方では五十四本位です、東京は風の强い所ですから、骨が太く四十本位なのもあります、最も四十といふのは餘り多くありませぬ、兎に角其地方によつて構造と精粗色々差異はありますが數寄者の爲に造られた傘は又別です、大坂の博覽會の時には一本五十五圓のがありましたが此處にある此傘(机上の一本を取り上げつ)も矢張實用向でなく、今日の樣な大雨には不向ですが、通人が粹な遊びの往復など小雨を凌ぐには最も適當です、此は骨も百本で細工が余程上手ですが骨代だけでも一圓はかゝるでせうから、此處に附けてある四圓では寧ろ損の行方でせう▲安物も必要　今度の熊本の出品には山鹿、宇土地方のが多數を占めて居るからです熊本市で出來るのは上等品ですが其は漸く同市内の需要を滿す位な產額で價も高いです熊本縣下で產額の多いのは矢張山鹿宇土で熊本近在では安いのを喜んで大概兩地方產の物を用ゐて居るが其が又中々實際に必要なのです熊本市内の產物は八十錢一圓といふので一寸人が買ひ兼ねるが、宇土、山鹿の品は二十三四錢の安價である爲に急場の間に合ふからです▲時雨傘に一里傘　安物だから早くも出來る粗糙な骨に紙を張つてロク／＼乾しもせずに直に賣品として出されると云ふ譯ですが、其代り損することも早いので山鹿の時雨傘、宇土の一里傘といふ語がある、其は山鹿の傘は一時雨に遭へば破れ、宇土の〇は一里行くと云ふ皮肉です、實際其程でないにしても今日の樣な大降雨の時には一日で大分惡くなりませう▲傘紙の染色　傘紙の染色は種々ありますが青が一番耐久力があります、最も正紺を用ゐれば此上はないですが近頃は化學的染料を多く使用するが爲に早く破れます、赤も惡くはないですが矢張青色が一番ですね▲其は言はれぬ　聯合縣中で何縣のが一番好いかと仰しやるですが、其は職務上言はれませぬが久留米が概して上等品を多く出します、鹿島のも晴雨兩用に供する一特色があり山鹿、宇土にも矢張安價といふ長所があります

●日曜集會　日の出町同教會にては本日曜日午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教夜は午後七時半より傳道說教あり其演題は朝「復活の靈感」米澤牧師夕「天與の流露」同牧師▲旭町四丁目日本基督教會にては午前九時半より日曜學校同十時半より禮拜說教辨士渡邊暢氏「我が父の事を務む」午後七時半より傳道說教辨士篠澤武夫「爾曹我を離るゝ時は何事をも爲す能はず」

目と耳

▲京城座　本日の藝題は「僞忠義」の通しにて重なる配役左の如し

大尉秋月靜雄(伊井)少尉三好正雄(花井)夜番忠吉(千葉)陸軍少佐山本一(川崎)政一母(金澤)召使れきよ(桂木)仲居れなつ(田中)結城友近(高田)醫者中村年方(上田)書生木村三郎(潮)小使溝部(八島)家令大山五郎(秋岡)娼妓八重菊(三好)甲斐田猛(美崎)川村政一(瀨川)遊人權次(興邊)矢上一郎(高島)

▲壽座　開演以來毎夜の大入に日延の日延べを續けたる同座の曾我の家一座も愈々二十七日を以て打ち上ぐると云へば未だ見ぬ人は勿論のこと既う見た方ももう一遍見て置きなさるべしと勸めする

平民文庫

▲廿五日午後二時統監府へ電話を掛けたら何方もお退けになりましたと云つたソコデ我輩は休日だけは日韓合併かねと聞いたら笑つて居た(呵々子)▲新町に別正といふ口入屋がありますが其の家へ時々私も行きますこ何日でもた花合戰してますが新町と云ふ所は八入しても大事ないのですか彼の人は能く人の惡口を云ふ癖に自分が爲る事は何んです諸方の人を寄せて賭博して近所の迷惑に成るやうな事はかり云つて居る、私が其家に行きますと宜い行き先が有る故較替しろと勸め升が今に樓主さんに大目玉頂戴するでしよう(或藝者)▲市内に朝早く擊劍教授下さる所御存じの方は當欄にて御教へ下されたい(希望生)▲漢城府菱田事務官に關する投書は要領を得ず下僚を過する傾頗だとか公私の非行が何うだとか登記事務も自宅に伺候するものゝ分のみ急ぐとか云つた計りぢや判らない要するに爲めにする所ある人の仲傷的行爲と認むるを至當とするを以て沒とす不服なれば證據を具して控訴でも上告でも致さるべし(保)▲過日の貴紙に出て居た櫛卷れ銀に引つ掛つて五百圓と云ふ大金を捲き上げられた方は誰アれ(大和町生)▲吉田政治君入京せらる森鷗次君一派の徒更らに愈々多忙ならん(觀察使)▲南大門外の或る商店員逹は毎朝女學生の通學するを見ては大きな聲を出して通行人も憚らず批評して居りますがあゝ云ふ事を云つては却つて御店の信用にかゝはりますから以後成る可く愼しみなさい(注意生)▲高等演藝館の景氣は素晴らしいものだ毎夜毎夜の大入續き夫れも無理はない値段が安くて出入が容易で映畫が鮮明だから(館行人)▲慘酷なる二葉亭の記事休まぬ樣に掲載して下さい人道の爲めにです(一讀生)▲富士崎中席兄よ過日は甚だ御雜作に與りました御挨拶が遲なはりました諸君に宜敷く本欄の餘白を籍りて失禮ながら、夫れから月讀四樂兩兄に例のもの早々御回しを願ひたいと傳へを願ひたい匆々(むら)

吉凶鏡

本町五丁目　三一館判斷

三月廿七日　舊二月十六日　四綠大安辛卯　建△一白　平穩なり旅行を止まり盜難防ぐべし金融に關する業務は大に好し△二黑　間違ひ易き日なり取引交際賣買貸借に注意すべし△三碧　模樣替方針替旅行轉住凶近親のため勞苦煩累あらん△四綠　新事及整理改革等見合の事交際上取引上衝突離齬多し△五黃　盜害を防ぎ酒色の破れを愼しむべし他人と什算上の事に付き紛爭起らんとす△六白　新事見合すべし尙旅行凶色情の害盜害防ぐべし△七赤　絕望の日とす宜しく戒傷すべし紛爭衝突を愼しみ新事見合せの事△八白　要求若くは依賴にあふあり虫畜類より害を蒙る勿れ△九紫　利潤を得又勢位を增すの日とす證券の事注意すべし

三月廿八日　舊二月十七日　五黃赤口壬辰　除△一白　新事見合せの事近親の事に付き損害若くは煩累あらん△二黑　婚姻共同組合集團等吉旅行貸借轉住凶△三碧　進退駈引頗る謹愼を要す盜水厄防ぐべし△四綠　覆沒に歸し易し新事及變更の事凶交際上破れ多し△五黃　衰運日とす新事及模樣替方針替談判凶家庭内に紛爭あらん△六白　靜事の日なり大抵吉旅行談判相談取引等進んでよし△七赤　旅行入門婚姻新事吉談合談判裁判等に忌む△八白　業務上に疎虞失錯あり紛失遺失防ぐべし△九紫　大抵吉旅行凶療病の上には注意すべし

●天氣豫報　(自廿六日午後六時　至廿七日午後六時)

北西風曇少雨後晴

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

無料紹介欄

人事部

●被雇度 三十四歳貨物取扱及通關手續に経験あり多少英語を解す會社又は商店諸官衙を望む 氏名在社(一〇)

●雇聘 野菜類 協同者を求む但し経験ある確實なる人 電話一二四二番方 ないとう

●書生採用 廿歳以下確實なる保證人ある者を求む 旭町二 堤法律事務

●店員入用 廿歳内外保證人を要す 龍山元町三丁目 日韓組米店

物件部

●貸家 平家一戸總間數四間及長家一戸間數三間場所南大門外吉野町

●家屋買入たし 平家 總坪十五坪乃至十八坪の家至急買入たし 電話七四番へ

●電話買入 (姓名在社)

●ポインタ猟犬牡一頭歸國に付格安讓る 姓名在社

廣告

弦齋流割烹 並に歌舞伎辨當
材料の豊富と技倆の熟練は割烹界に於ける弊店の特色に有之候
京城南山町一丁目 す津孫 (電話一五〇二番)
出前の儀は電話又は一報次第即刻持參可致候

最新療治 マッサージ治療 (並に産婆開業)
◎主治概要 腦神經諸病、胃腸諸病、神經痛、關接諸病、産婦人科諸病、うちみ、くぢき、りよまちす 其他醫藥効なき頑固病疾を治療す
京城太平町二丁目大漢門通光化門寄 長瀬マッサージ部
京城出張所 助産の需に應ず 産婆荒川元子

御料理席貸 和樂園 高田家 (電話九三七番) 米倉町
○料理は萬事御手輕にして高尚
○園内は至極閑靜にして別世界
○土地高燥にして見晴し京城一
○大廣間の設備も有之候間集會又は宴會等に適當に候

京城鐘路の喰物は何んだろー!
裁判所前の洋食店 鐘路軒の 松茸めしさ
酒一本付 外和洋料理五品 一人前六十錢
安くてうまくてはらにたまるよ 一ぺん一度たべてごらんなさい
又和洋料理和洋食共辨當の注文するとすぐ一つでも持つてくる 極く便利ですよ
電話壹四二九番 客用有ます
◎監獄辨當の差入も引受ます◎

東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際) 大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番
明治町勧商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

廣告
民事、刑事、其他總ての訴訟事件の鑑定
貸金證券、賣掛代金、約束手形、爲替手形、其他總ての債權は事件の大小に不拘取立金買入
負債、貸金、銀行、會社の整理引受及相談等は懇切鄭重に應ず
貸金請求、家賃取立、小作取立、其他總ての民事、刑事訴訟事件
右は迅速確實に依頼者の満足を旨とし事務を取扱ふを以て事件の大小に不拘御來談を乞ふ
京城旭町二丁目四十五番戸 堤重四郎法律事務所

越
四月一日より七日まで 春季大賣出 並に新製品見切反物色々取揃へ居候
京城本町 三越呉服店 電話三五二番

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛中風、ひぜん、梅毒、りん よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん 腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能
貸席 鐵冷温泉
京城本町一丁目郵便局前 電話千四百十一番

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店 電話一一番 六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

辯護士 岡田榮
熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セズ)
京城旭町一丁目六十七番戸 (電話三九八番)

京城明治町二丁目(佛國教會前)
辯護士 特許辯理士 岩田仙宗 電話三五四番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候 御客様に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目 原金旅館 (電話一一一五番)

東京火災海上運送保險株式會社
明治廿年七月創立 資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類 其他
委託販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山臺鹽合資會社食鹽特約
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋南鍋町一丁目十番地 電話新橋三六九二

神戸資生分院
京城梅毒病院
◎花柳病専門並、痔(注射療法)
●入院随意●
京城相生町(南門湯横) (電話一二九四)
院長 醫學得業士 廣田耕平

入院随意
中島醫院
京城本町三丁目(電話三七八番)
院主 醫學得業士 中島貞信

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番地 電話五十八番
資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、静岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、鶴岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、網干、
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、
西海道 西條、松山、三津ヶ濱、直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南、
清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壌、木浦、羣州、大邱、群山、安東縣、晋州、尚州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行京城支店 (電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羣州、群山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

御紋上繪、染物、洗張、西洋洗濯
もの し、しみぬき、かけつぎ
京染悉皆取扱
業者として御一報被下候へば早速店員出張致し御便宜可申候
京城古市町 主任 島田嘉吉 京屋

めし道樂 開業御披露
一人前三十錢
鯛 松たけめし
あなご 竹の子めし
鶏 ゑんどうめし
なくて七癖と申しますから皆様にも色々の道樂もありますが就中めし道樂ほど、よい道樂はございません、此道樂を發揮せん爲め、わざく大阪表からわり抜きの美人をよびよせ釜のまゝ御座敷の眞中に持運び御客様の御好に任せ按排加減を程好くして差上ます何卒御賞味かたぐ御來遊の程ひとへに願入申ます尚多少によらず出前も御注文に迅速に御届け仕りますから御用命の程御願申上ます
大和町三丁目 梅の家眞向ひ
明月 電話七三五

紙と印刷
諸紙 諸官衙御用
和洋帳簿 印刷 各種製本
播本商店
京城本町六丁目 電話百拾番

大上商店
特約販賣 味噌醤油製造元 漬物問屋
自製 和洋酒、國精酢、穀物類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、鑑札、埴半、日本食鹽各種特約販賣 御注文に依り商品切手調進仕候
(電話二五一番) 京城本町五丁目

京城南山町(元日本人倶樂部)
京城ホテル
電話長一二三 四九二番